

科目名 Course Name	インターンシップⅡ(スポーツ) InternshipⅡ				ナンバリング No.	A2-002	
年次	1年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	立川 聡子						
連絡先(質問等)	本館 2F 研究室またはメールで対応						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1、DP2、D4P						
授業の概要と到達目標	<p>インターンシップⅠの継続として個別指導を中心に行う。インターンシップ先の決定、申請手続きの指導、事前訪問の指導、実習中の指導、実習後の指導、報告会のながれとなる。インターンシップの期間は3～10日間、実施は8、9月、2、3月を基本とし、受入先の事情によってはこの限りではない。個別指導を重点的に行うが要する時間、インターンシップでの実習時間は各受講者によって異なる。</p> <p>①自身の職業観について説明できるようにする。 ②なぜインターンシップを行うのか、自身の目的を明確にし、説明できるようにする。 ③自身のインターンシップの目的に合う受入先を決定し、意義のある実習とすることができるようにする。</p>						
授業の方法	講義、マナー指導、報告、発表、そして事例研究を取り入れ、実際のインターンシップを想像できるように演習を行う。個別の対応を行う。						
学習成果	L01	授業で学んだ社会人として必要な構えについて実践を通じた新たな学びを経験し、今後の自身の進路やキャリアデザインどのように役立てることができるのか、他者にわかりやすく説明することができる。					
	L02	職業体験の実践を通して学んだ、今後の社会人、職業人として備えるべきことは何であるのか、他者にわかりやすく説明することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	授業内で模範解答等を示し、各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	『新編 ワークで学ぶ インターンシップリテラシー』西文社、長谷川文代						
履修上の留意点やルール等	インターンシップ費用(本学手数料および、各自の実費負担として、交通費、通信費、スーツなど)事前事後学習に費やすべき時間の目安は各回45分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度					
レポート/作品	要件を充足している。自分の考えを述べている。論理的にまとめている。設問に的確に解答している。	20			
発表	発表に備えて十分に準備している。自ら意欲的に発表に臨んでいる。話す言葉づかいが適切である。話す速度が適切である。声の大きさが適切である。言葉が明瞭でわかりやすい。話が論理的に展開されている	30			
小テスト					
試験					
その他	インターンシップ先による実習評価(5段階) 5=50点、4=40点、3=30点、2=20点、1=10点		50		
合計		50	50		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(学習成果、評価等) 以下に個別指導による事前、実習中、事後指導の一例を示す。個別により時間配分は異なる。
	事前・事後学習	インターンシップ I の学びを振り返る
2	授業内容	スーツ着用、メイク道具持参、事前訪問の目的と注意点、身だしなみ、照明写真の撮影
	事前・事後学習	身だしなみのポイントを確認し、実際に身だしなみを整える
3	授業内容	提出書類の種類と準備、志望動機添削
	事前・事後学習	志望動機の作成をおこなう。
4	授業内容	実習先の検討、決定
	事前・事後学習	希望先候補に連絡をし、受入れの依頼をおこなう
5	授業内容	事前訪問指導
	事前・事後学習	受入れの内諾をいただいた希望先を訪問し、受入れのお礼と実習内容の確認をおこなう。
6	授業内容	実習ノートの書き方 / 実習中に気を付けること / 学内手続き(申込み、保険加入)
	事前・事後学習	実習ノートの作成についてポイントをまとめる
7	授業内容	インターンシップ終了後にすべきこと / 礼状の書き方 / 学内手続き〆切
	事前・事後学習	礼状の書き方についてポイントまとめ、実際に作成する。
8	授業内容	インターンシップ直前確認 / 報告書の書き方
	事前・事後学習	実習直前の確認事項について準備する
9	授業内容	インターンシップ直前最終確認 / 報告書の作成
	事前・事後学習	実習直前の確認事項について準備する
10	授業内容	インターンシップ実習に関わる個別指導
	事前・事後学習	実習に備えた事前、事後学習の確認と準備
11	授業内容	インターンシップ実習に関わる個別指導
	事前・事後学習	実習に備えた事前、事後学習の確認と準備
12	授業内容	インターンシップ実習に関わる個別指導
	事前・事後学習	実習に備えた事前、事後学習の確認と準備
13	授業内容	インターンシップ実習に関わる個別指導
	事前・事後学習	実習に備えた事前、事後学習の確認と準備
14	授業内容	インターンシップ実習後の個別報告と指導 レポート①(実習ノート、礼状含む)
	事前・事後学習	インターンシップ実習の報告準備
15	授業内容	インターンシップ報告会 3月以降 発表① レポート② :実習報告、報告会資料
	事前・事後学習	受講者相互の評価と自己評価のまとめ

科目名 Course Name	インターンシップⅡ(ビジネス) InternshipⅡ			ナンバリング No.	A1-002	
年次	1年	期別	前期	単位数	1	授業形態 演習
担当者氏名	立川 聡子					
連絡先(質問等)	本館 2F 研究室またはメールで対応					
必修/選択	選択					
関連 DP	DP1、DP2、D4P					
授業の概要と 到達目標	<p>インターンシップⅠの継続として個別指導を中心に行う。インターンシップ先の決定、申請手続きの指導、事前訪問の指導、実習中の指導、実習後の指導、報告会のながれとなる。インターンシップの期間は3～10日間、実施は8、9月、2、3月を基本とし、受入先の事情によってはこの限りではない。個別指導を重点的に行うが要する時間、インターンシップでの実習時間は各受講者によって異なる。</p> <p>①自身の職業観について説明できるようにする。 ②なぜインターンシップを行うのか、自身の目的を明確にし、説明できるようにする。 ③自身のインターンシップの目的に合う受入先を決定し、意義のある実習とすることができるようにする。</p>					
授業の方法	講義、マナー指導、報告、発表、そして事例研究を取り入れ、実際のインターンシップを想像できるように演習を行う。個別の対応を行う。					
学習成果	L01	授業で学んだ社会人として必要な構えについて実践を通した新たな学びを経験し、今後の自身の進路やキャリアデザインのように役立てることができるのか、他者にわかりやすく説明することができる。				
	L02	職業体験の実践を通して学んだ、今後の社会人、職業人として備えるべきことは何であるのか、他者にわかりやすく説明することができる。				
	L03					
	L04					
課題に対する フィードバック	授業内で模範解答等を示し、各自にフィードバックする。					
教科書/ 参考図書	『新編 ワークで学ぶ インターンシップリテラシー』西文社、長谷川文代					
履修上の留意点 やルール等	インターンシップ費用(本学手数料および、各自の実費負担として、交通費、通信費、スーツなど)事前事後学習に費やすべき時間の目安は各回45分とする。					
担当教員の実務 経験						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度					
レポート/作品	要件を充足している。自分の考えを述べている。論理的にまとめている。設問に的確に解答している。	20			
発表	発表に備えて十分に準備している。自ら意欲的に発表に臨んでいる。話す言葉づかいが適切である。話す速度が適切である。声の大きさが適切である。言葉が明瞭でわかりやすい。話が論理的に展開されている	30			
小テスト					
試験					
その他	インターンシップ先による実習評価(5段階) 5=50点、4=40点、3=30点、2=20点、1=10点		50		
合計		50	50		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(学習成果、評価等) 以下に個別指導による事前、実習中、事後指導の一例を示す。個別により時間配分は異なる。
	事前・事後学習	インターンシップ I の学びを振り返る
2	授業内容	スーツ着用、メイク道具持参、事前訪問の目的と注意点、身だしなみ、照明写真の撮影
	事前・事後学習	身だしなみのポイントを確認し、実際に身だしなみを整える
3	授業内容	提出書類の種類と準備、志望動機添削
	事前・事後学習	志望動機の作成をおこなう。
4	授業内容	実習先の検討、決定
	事前・事後学習	希望先候補に連絡をし、受入れの依頼をおこなう
5	授業内容	事前訪問指導
	事前・事後学習	受入れの内諾をいただいた希望先を訪問し、受入れのお礼と実習内容の確認をおこなう。
6	授業内容	実習ノートの書き方 / 実習中に気を付けること / 学内手続き(申込み、保険加入)
	事前・事後学習	実習ノートの作成についてポイントをまとめる
7	授業内容	インターンシップ終了後にすべきこと / 礼状の書き方 / 学内手続き〆切
	事前・事後学習	礼状の書き方についてポイントまとめ、実際に作成する。
8	授業内容	インターンシップ直前確認 / 報告書の書き方
	事前・事後学習	実習直前の確認事項について準備する
9	授業内容	インターンシップ直前最終確認 / 報告書の作成
	事前・事後学習	実習直前の確認事項について準備する
10	授業内容	インターンシップ実習に関わる個別指導
	事前・事後学習	実習に備えた事前、事後学習の確認と準備
11	授業内容	インターンシップ実習に関わる個別指導
	事前・事後学習	実習に備えた事前、事後学習の確認と準備
12	授業内容	インターンシップ実習に関わる個別指導
	事前・事後学習	実習に備えた事前、事後学習の確認と準備
13	授業内容	インターンシップ実習に関わる個別指導
	事前・事後学習	実習に備えた事前、事後学習の確認と準備
14	授業内容	インターンシップ実習後の個別報告と指導 レポート①(実習ノート、礼状含む)
	事前・事後学習	インターンシップ実習の報告準備
15	授業内容	インターンシップ報告会 3月以降 発表① レポート②:実習報告、報告会資料
	事前・事後学習	受講者相互の評価と自己評価のまとめ

科目名 Course Name	インターンシップⅡ(医療事務) Internship II				ナンバリング No.	A2-002	
年次	1年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	古川貴子						
連絡先(質問等)	講義棟2階研究室またはメールにて対応						
必修/選択	選択						
関連DP	DP2、P3、DP5						
授業の概要と到達目標	<p>インターンシップⅢの事前学習として、インターンシップⅠを基礎とし、医療現場でのコミュニケーション能力の向上を目指し実践的に習得する。</p> <p>①医療機関での事務員の立場について理解し、コミュニケーション能力を身につけることができるようにする。</p> <p>②インターンシップでの明確な目標を持ち、医療機関で実践できる能力を身につけることができるようにする。</p> <p>③社会人としてのマナー、身だしなみ、言葉遣いができるようにする。</p>						
授業の方法	実際のインターンシップを想定した演習や、事例研究、病院見学等を取り入れ、病院見学後の報告・発表会を行う。						
学習成果	L01	インターンシップの意義を理解し、自身の目標にむけて実習に臨むことができる。					
	L02	医療機関での医療事務の立ち位置を学習し、対応することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	個別の対応・支援を行う。						
教科書/参考図書	医療事務講座医科・クリニックテキスト2「患者接遇マナー」(ニチイ学館)、資料配布						
履修上の留意点やルール等	<ul style="list-style-type: none"> ●インターンシップⅠの単位を修得していること。 ●無断欠席・無断遅刻は減点(欠席4点、遅刻3点)とする。 ●インターンシップ参加費用・テーブルマナーの参加費用・その他詳細は授業にて説明する。 ●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回45分とする。 						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:病院事務、職歴:通算9年)病院事務としての経験を、医療機関での事務の立ち場と組織理解およびコミュニケーションの取り方について説明する際に活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業に積極的に参加し、疑問や不明点を解決する姿勢を持つ	30			
レポート/作品	レポート作成提出期日を守り、自分の考えを論理的にまとめている	20			
発表	発表内容(十分な考察、発表媒体をわかりやすくまとめている)や発表態度で評価する。		50		
小テスト					
試験					
その他					
合計		50	50		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、医療機関でのインターンシップとは
	事前・事後学習	インターンシップ I での学習内容を振り返る。
2	授業内容	医療機関での仕事の流れと心構え
	事前・事後学習	病院見学先のリサーチをしておくこと。発表のためのデータ収集をしておくこと。
3	授業内容	総合案内・受付での外国人対応 ①
	事前・事後学習	医療通訳・英会話の復習(ポケットークの使い方)
4	授業内容	総合案内・受付での外国人対応 ②
	事前・事後学習	医療通訳・英会話の復習(ポケットークの使い方)
5	授業内容	医療機関の組織とコミュニケーションのとり方
	事前・事後学習	病院見学先のリサーチをしておくこと。発表のためのデータ収集をしておくこと。
6	授業内容	チーム医療とは(組織の役割)
	事前・事後学習	病院見学先のリサーチをしておくこと。発表のためのデータ収集をしておくこと。
7	授業内容	インターンシップ先、医療機関について知る
	事前・事後学習	インターンシップ先の医療機関についてレポートを作成し第11回の授業時に提出する。
8	授業内容	事例研究 ① 書類作成
	事前・事後学習	病院見学報告会のための準備。 インターンシップ先医療機関についてレポート作成。
9	授業内容	事例研究 ② 自己PR・名刺作成
	事前・事後学習	病院見学報告会のための準備。 インターンシップ先医療機関についてレポート作成。
10	授業内容	事例研究 ③ 実習ノートの書き方、学内手続(申込み、保険加入)
	事前・事後学習	病院見学報告会のための準備。 インターンシップ先医療機関についてレポート作成。
11	授業内容	事例研究まとめ
	事前・事後学習	病院見学報告会のための準備。 事例研究についてレポートを作成し、第14回の授業時に提出する。
12	授業内容	インターンシップ事前訪問の注意点・アポイントの取り方
	事前・事後学習	病院見学報告会のための準備。 事例研究についてレポート作成。
13	授業内容	インターンシップ終了時にすべきこと・礼状の書き方
	事前・事後学習	病院見学報告会のための準備。 事例研究についてレポート作成。
14	授業内容	インターンシップ直前の最終確認・報告書の書き方
	事前・事後学習	病院見学報告会のための準備
15	授業内容	病院見学報告会
	事前・事後学習	病院見学報告会のための準備

科目名 Course Name	インターンシップⅡ（観光） Internship II (Tourism)			ナンバリング No.	A2-002		
年次	1年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	斎藤 清						
連絡先(質問等)	本館 1F 研究室か、メールで対応。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1,DP2,DP3			学習の順序	カリキュラムマップを参照		
授業の概要と到達目標	<p>インターンシップ派遣の事前学習として、インターンシップⅠを基礎とし、観光業界の現場でのコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力の向上を目指し実践的に修得する。インターンシップの期間は3日～3週間程度で、実施は2月を予定する。受け入れ先は、県内および県外の観光関係企業や自治体等で、本人の希望を確認しながら調整して決定していく。事後学習としては報告書の作成・提出および、後日1年生対象の報告会等での発表を実施する。</p> <p>①観光現場でのサービススタッフの立場や、コミュニケーション能力を身につけることができるようにする。 ②インターンシップでの明確な目標をもち、観光現場で実践できる能力を身につけることができるようにする。 ③社会人としてのマナー、身だしなみ、言葉づかいができるようにする。</p>						
授業の方法	「キャリアデザイン・ノート」を活用して、対人技能、実務技能、サービススタッフの資質、プレゼンテーション法について講義を進めていく。インターンシップ後の報告・発表会を行う。						
学習成果	L01	①インターンシップの意義を理解し、自身の目標に向けて実習に臨むことができる。 ②観光現場での自分の立場と役割を確認することができる。					
	L02	①観光現場で働くうえでどのような知識や技術が必要なのかを説明することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	個人面接を複数回行い、日常的悩みや将来希望等について議論し、課題に対するフィードバックを行う。						
教科書/参考図書	適宜プリント等を配布する。						
履修上の留意点やルール等	<p>インターンシップは春期休暇中に参加すること。インターンシップ参加費用は、大学としての管理費として@10,000円を収受する予定。その他、詳細は授業内で説明する。</p> <p>原則インターンシップⅠの単位を取得していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●3分の1以上欠席した場合は、理由の如何を問わず単位認定しない。 ●遅刻厳禁、私語は慎むこと。授業途中での無断退出禁止。携帯電話の使用・飲食は厳禁。 ●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回45分とする。 						
担当教員の実務経験	<ul style="list-style-type: none"> ●実務経験(職種:旅行業、職歴:通算31年) <p>国内旅行実務の多様な経験を、学生の将来進路の選択に際し活かす。</p>						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	日頃の身だしなみ、挨拶、マナー、報告・連絡・相談の実践ができ、指導されたことは速やかに改善することができること。将来の進路に直接関わる授業であることを認識し積極的に取り組むこと。	20	20		
レポート/作品	授業内で課す課題や提出物に関し真摯に取り組み、しっかりとした内容が伴っていること。提出期限を遵守することも評価ポイント。	15	15		
発表					
小テスト					
試験					
その他	インターンシップ意向調査や個人面談等に真摯に対応し、自分の将来につき真剣に考えている。	15	15		
合計		50	50		

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション（講義の進め方）
	事前・事後学習	オリエンテーション内容の再確認
2	授業内容	キャリアデザインについて
	事前・事後学習	キャリアデザインの重要性をしっかりと理解する。
3	授業内容	キャリアデザインのための自己理解
	事前・事後学習	キャリアデザイン立案の前提としての自己分析を行う。
4	授業内容	職業理解① 働くことの意味合い 第1回インターンシップ希望調査
	事前・事後学習	働くことの意味合いを考える。インターンシップ先を具体化させる。
5	授業内容	職業理解② 大学で学ぶことと実社会との関係
	事前・事後学習	大学で学ぶことの社会での活かし方を学ぶ。
6	授業内容	職業理解③ 社会人として必要な能力・パワー
	事前・事後学習	社会人として必要なスキルを身に付ける。
7	授業内容	職業理解④ 大学生をめぐる就職状況
	事前・事後学習	観光産業の就職動向を調べる。
8	授業内容	職業理解⑤ 大学生の就職活動に見る問題点 第2回インターンシップ希望調査
	事前・事後学習	就職活動のポイントについて学ぶ。
9	授業内容	職業理解⑥ 在学中の実社会体験
	事前・事後学習	インターンシップの意義と重要性を学ぶ。
10	授業内容	観光産業の採用状況
	事前・事後学習	インターンシップ先の企業研究と採用方針等を調べる。
11	授業内容	観光産業の企業研究 業種・職種を知る 第3回インターンシップ希望調査
	事前・事後学習	引き続きインターンシップ先の企業研究を行う。
12	授業内容	事例研究 事前訪問の注意点・アポイントの取り方
	事前・事後学習	具体的なインターンシップ派遣に向けた準備に取り掛かる。
13	授業内容	事例研究 インターンシップ終了後にすべきこと・礼状の書き方
	事前・事後学習	インターンシップへの関わり方と終了後の礼状の書き方等を学ぶ。
14	授業内容	インターンシップ直前の最終確認・心構え
	事前・事後学習	インターンシップ先の詳細情報、担当者への挨拶等について
15	授業内容	インターンシップ経験の就活への活かし方
	事前・事後学習	インターンシップ日誌の記入方法、誓約書の提出等